

NR 3170

情報モジュラジャック (CAT6) (埋込型)

パナソニック株式会社

ITF



24547441109997

■施工方法

施工上の ご注意

- LAN用モジュラジャックの施工には、当社指定の工具をご使用ください。適合しない工具を使うと接続端子を損傷することがあります。
- 1000BASE-T伝送の配線は電力配線と15 cm以上の離隔距離を設けることをお勧めします。電力配線からのノイズにより、まれに伝送不良が発生することがあります。

適用電線及び適用モジュラプラグ付コード：当社製 LANケーブル CAT6及びモジュラコードCAT6 (AWG24の単線及びより線)

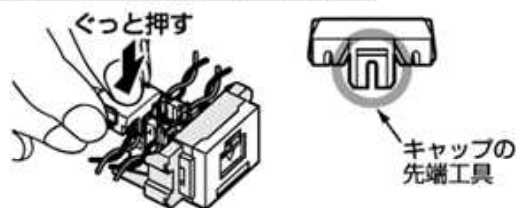
① キャップを本体からはずす



キャップのツメの先端をつまみながらはずす。
※できるだけ先端をつまんでください。

④ 心線を結線する

キャップの先端工具を使用する場合



- ①キャップの先端工具で心線を1本ずつぐっと押し込む。
- ②余った線をニッパー等で切断する。

② ケーブルの外被をむき、モジュラジャックに固定する

外被を50 mm程度むき、外被の先端を「ケーブル固定部」にはめこむ。ケーブル固定部

- 注1) エコケーブルの場合は外被が白化しやすいため、ケーブル固定部にあたらぬように外被をむいてください。
- 注2) 心線を傷つけないように外被をむいてください。
- 注3) ケーブルのクロスセパレータは短く切断してください。エコケーブルの場合



当社指定工具

- ぐっとす結線専用ツール (NR3521)
- インパクトツールは当社製NR2470
または同等品 (110端子用シングルタイプ)

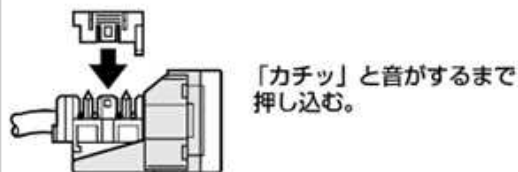
③ 心線を溝に挿入する

ラベルの表示色に合わせて左右の溝に挿入する。



※燃りの中心を、溝の突起に押し当てて広げながら挿入する。燃りがきつい場合は、少し燃りを戻して挿入する。

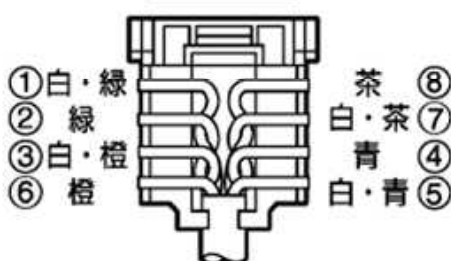
⑤ キャップを装着する



注)キャップがしっかりと装着されていない場合は、キャップ先端工具で再度心線を十分に押し込んでください。

結線図

T568A



T568B

